

研究発表プログラム

第1日目 6月25日(土)

9:30～ 開場(受付開始)

9:45～ ポスター(◆ P001～ P058) 掲示作業

10:25～10:35 開会挨拶 第38回大会実行委員長 橋本敏明(東海大学松前記念館館長)

(◎代表研究者・当日発表者 ○当日発表者)

セッションI 保存環境

座長：秋山純子(九州国立博物館)、和田 浩(東京国立博物館)

10:40～11:00 エタノールアミン類を用いた気相法による酸性紙の劣化抑制処理

◎岡山隆之(東京農工大学)、岩渕真行(東京農工大学)

11:00～11:20 ガス検知管法を用いた博物館の常設展示室におけるアンモニアガスの動態調査

◎杉崎佐保恵(福島県立博物館)、山崎正彦(光明理化学工業(株))、松田隆嗣(東北学院大学)

11:20～11:40 二酸化炭素処理による発泡体の形状変化について

◎二俣 賢(日本液炭(株))、日高真吾(国立民族学博物館)、末森 薫(国立民族学博物館)、
和高智美(文化創造巧芸)、河村友佳子((公財)元興寺文化財研究所)、
橋本沙知((公財)元興寺文化財研究所)、芳村健治(日本液炭(株))

11:40～12:00 緒方洪庵の薬箱(大阪大所蔵)に収納された生薬資料：虫害状況とその特徴

◎高浦(島田)佳代子(大阪大学総合学術博物館・資料基礎研究系)、
高橋京子(大阪大学総合学術博物館)、小栗一輝(大阪大学大学院薬学研究科)、
村田路人(大阪大学大学院文学研究科)

12:00～13:00 昼休憩

13:00～14:00 ポスターセッション

セッションII 製作技術

座長：荒井 経(東京藝術大学)、早川典子(東京文化財研究所)

14:00～14:20 『外台秘要方』に基づく綿臙脂の再現

◎沓名弘美(ぎんか)、毛利千香(Freer and Sackler Galleries, Smithsonian Institution)、
沓名貴彦(国立科学博物館)

14:20～14:40 正倉院染織品に用いられた染料の HPLC 分析

◎中村力也(正倉院事務所)、成瀬正和(正倉院事務所)

14:40～15:00 黄色天然染料「黄檗」の化学分析から文化財染織品について得られる情報について

◎佐々木良子(京都工芸繊維大学)、佐々木 健(京都工芸繊維大学)

15:00～15:20 近代日本画における垂鉛華を使用した彩色技法

—明治33年京都市美術工芸学校絵画科卒業作品を事例として

◎紀 芝蓮(京都市立芸術大学大学院)、高林弘実(京都市立芸術大学大学院)、
田島達也(京都市立芸術大学大学院)

15:20～15:40 各種現像方法別ジアゾタイプの耐光試験による変退色の比較

◎佐竹尚子(筑波大学、警視庁科学捜査研究所)

15:40～15:45 5分休憩

セッションⅢ マネジメント

座長：石井美恵 (佐賀大学)、谷口陽子 (筑波大学)

- 15:45～16:05 クラウドファンディングを活用した過疎地域の文化財の保存修復
◎宮本晶朗 (文化財マネジメント)、岡田 靖 (木製彫刻文化財保存修復研究所)、
牧野隆夫 (吉備文化財修復所)、渡邊真吾 (東北古典彫刻修復研究所)、田川新一朗 (箭上文化財修復)、
足立収一 (東北古典彫刻修復研究所)、佐藤健彦 (吉備文化財修復所)、西巻彩子 (吉備文化財修復所)
- 16:05～16:25 大エジプト博物館保存修復センター (GEM-CC) における人材育成を目的とした
国際協力プロジェクト ～戦略的マネジメントプランの活用と技術移転効果の評価
◎松田泰典 (JICA 専門家 (GEM-CC プロジェクト))、原田 怜 (JICA 専門家 (GEM-CC プロジェクト))、
末森 薫 (国立民族学博物館)、山内和也 (東京文化財研究所)
- 16:25～16:30 5分休憩

特別行事

- 16:30～17:30 特別講演「東海大学における日本初のパピルス・プロジェクト」
山花京子 (東海大学文学部アジア文明学科准教授)

15:30～17:30 ポスター撤去作業

18:00～20:00 懇親会

第2日目 6月26日 (日)

- 9:00～ 開場 (受付開始)
9:15～ ポスター (◇ P059～ P116) 掲示作業

セッションⅣ 保存・修復事例

座長：中村力也 (正倉院事務所)、降幡順子 (奈良文化財研究所)

- 9:30～ 9:50 X線CTスキャナを用いた蒔絵硯箱の構造研究 ～「小倉山蒔絵硯箱」の構造調査
◎赤田昌倫 (九州国立博物館)、佐々木康之 (サントリー美術館)、川畑憲子 (九州国立博物館)、
今津節生 (九州国立博物館)
- 9:50～10:10 祐天寺蔵祐天上人長悦像の修復とCT撮像調査の有効性についての一考察
◎牧野隆夫 (吉備文化財修復所)
- 10:10～10:30 瓦の保存修復とその耐久性
—重文・定光寺観音堂の古瓦の保存修復処置と35年後の状態
◎西浦忠輝 (国士舘大学)、高品正行 ((株)文化財構造計画)
- 10:30～10:50 積雪寒冷地域における積雪と石造文化財周辺の温度環境
◎石崎武志 (東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター)
- 10:50～11:00 10分休憩

- 11:00～12:00 総会
 12:00～13:00 昼休憩
 13:00～14:00 ポスターセッション

セッションV 製作材料

座長：岡 泰央 (国宝修理装演師連盟)、北村 繁 (漆芸家)

- 14:00～14:20 螺鈿に使われる貝殻の構造的特徴 —ヤコウガイ、アワビについて
 ◎矢崎純子 ((株) 真珠科学研究所)、南條沙也香 ((株) 真珠科学研究所)、
 小林公治 (東京文化財研究所)、松田泰典 ((株) 真珠科学研究所)、小松 博 ((株) 真珠科学研究所)
- 14:20～14:40 画絹の生糸形状が発色に与える影響
 ◎山田祐子 (東京文化財研究所)、志村 明 (勝山織物 (株) 絹織製作研究所)、
 秋本賀子 (勝山織物 (株) 絹織製作研究所)、加藤雅人 (東京文化財研究所)、
 吉田直人 (東京文化財研究所)
- 14:40～14:45 5分休憩

セッションVI 災害

座長：相澤邦彦 (兵庫県立美術館)、日高真吾 (国立民族学博物館)

- 14:45～15:05 津波被災ミュージアム施設「鯨と海の科学館」(岩手県山田町)と仮設収蔵施設の空気質
 ◎松井敏也 (筑波大学)、河崎衣美 (筑波大学)、及川 規 (東北歴史博物館)、
 芳賀文絵 (東北歴史博物館)、増田竜司 (日本無機 (株))、中島文男 (日本無機 (株))、
 伏見拓朗 ((株) クマヒラ)、川向聖子 (山田町教育委員会)、湊 敏 (鯨と海の科学館)、
 道又 純 (鯨と海の科学館)
- 15:05～15:25 津波被災文化財施設・被災資料保管施設の空気質とその文化財材質への影響
 ◎及川 規 (東北歴史博物館)、松井敏也 (筑波大学)、芳賀文絵 (東北歴史博物館)、
 河崎衣美 (筑波大学)、増田竜司 (日本無機 (株))、中島文男 (日本無機 (株))、伏見拓朗 ((株) クマヒラ)
- 15:25～15:45 被災した浄安寺千体地蔵の保存活動 ～予防保存対策と地域主体による保護継承
 ◎小野慎之介 (東洋美術学校)、松田泰典 (東洋美術学校)、後閑亜有実 (東洋美術学校)、
 郷間 堇 (東洋美術学校)
- 15:45～16:05 被災した組織アーカイブズの消滅と救援・復旧に関する検証
 ー関東・東北豪雨で被災した常総市の事例
 ◎青木 睦 (国文学研究資料館)、高科真紀 (国文学研究資料館)、林 貴史 (常総市)
- 16:05～16:15 閉会挨拶 文化財保存修復学会理事長 三浦定俊
- 15:30～16:45 ポスター撤去作業

ポスターセッション

(◎代表研究者・当日発表者 ○当日発表者)

第1日目 6月25日(土)

- ◆ P001 アンコールワット寺院第一回廊の硬度測定とシアノバクテリアの表面被覆プロセス
◎宋 苑瑞(日本学術振興会)、藁谷哲也(日本大学大学院理工学研究科)、
小口千明(埼玉大学大学院理工学研究科)
- ◆ P002 カップアドキア・ウズムル岩窟教会壁画の安定化処置および岩窟躯体の保護について
◎谷口陽子(筑波大学)、小泉圭吾(大阪大学)、伊庭千恵美(京都大学)、渡辺晋生(三重大学)、
佐野勝彦((株) デイ・アンド・デイ)、朴 春澤((株) ハイテック)
- ◆ P003 アルメニア共和国における染織文化財保護の国際協力
—アルメニア歴史博物館とエチミアジン大聖堂付属博物館
◎石井美恵(東京文化財研究所)
- ◆ P004 カナダの博物館の事例にみる予防保存の実践的な活動と資料保存の課題
◎末森 薫(国立民族学博物館)
- ◆ P005 西夏文書の保存修理に関する日中合作事業
◎木下陽介((株) 岡墨光堂)、岡 興造((株) 岡墨光堂)、今津節生(九州国立博物館)、
範 奕瑩(九州国立博物館)、塔 拉(内蒙古博物院)、徐 崢(内蒙古博物院)、
李 勤(内蒙古博物院)、金 輝(内蒙古博物院)
- ◆ P006 チベット シャル寺一階回廊壁画「竜王樹下説法図」における本生譚の解釈とその表現
◎正垣雅子(奈良芸術短期大学)
- ◆ P007 ハギア・ソフィア大聖堂西ギャラリー階モザイクの調査
◎佐々木淑美(関西大学国際文化財・文化研究センター、東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター)
- ◆ P008 コソヴォにおける紛争後の文化遺産の現状と課題
◎日高 翠(日本学術振興会)
- ◆ P009 ELISA(エライザ)法によるバーミヤーン仏教壁画の膠着剤の分析
◎高嶋美穂(国立西洋美術館)、谷口陽子(筑波大学)
- ◆ P010 アッシャーノ・サンティッポリート教会主祭壇壁画の調査研究と保存修復
—彩色層補強と補彩作業—
◎前川佳文(東京文化財研究所)
- ◆ P011 金属箔を使用した西洋中世油彩技法の考察
—テオフィルス「透明な絵」とノルウェー祭壇画群の比較—
◎高橋香里(東京藝術大学大学院)
- ◆ P012 湿度変化に過敏な板絵の甚大な剥落箇所のための充填材の研究
◎米田奈美子(保存修復油画)
- ◆ P013 19世紀イタリア絵画作品の技法研究 —バルトロメオ・スケルミーニ作品における事例報告—
◎白石 明香(東京学芸大学大学院)、野村久瑠美(東京学芸大学大学院)、芦立麻衣子(東京学芸大学大学院)、
新免歳靖(東京学芸大学)、福田 誠((株) 絵画保存研究所)、大川美香((株) 絵画保存研究所)、
二宮修治(東京学芸大学)

- ◆ P014 迎賓館天井絵画修復事例報告 (41号室)
◎渡邊郁夫 ((有) 修復研究所21)、宮田順一 ((有) 修復研究所21)、田中智恵子 ((有) 修復研究所21)、宮崎安章 ((有) 修復研究所21)、村山浩規 ((有) 修復研究所21)、有村麻里 ((有) 修復研究所21)、桐生 諭 ((有) 修復研究所21)、富山恵介 ((有) 修復研究所21)
- ◆ P015 藤田嗣治作品の線と筆
◎小谷野匡子 ((株) 絵画保存研究所)、大川美香 ((株) 絵画保存研究所)、ルイ松岡 秋子 (アトリエ松岡)、平山美知子 (平山郁夫シルクロード美術館)
- ◆ P016 吉田博ヴェラスケス模写「メニッポス」光学調査による絵画技法の観察と修復の報告
◎尾形 純 (Tokyo Conservation)、山野順生 (Tokyo Conservation)
- ◆ P017 香田勝太《厨さき》に見る劣化症状について
◎安田真実子 (東京藝術大学)
- ◆ P018 桜井浜江作《赤い風景》の保存修復 —キャンバスの破損に対する修復方法の検証—
◎中右恵理子 (東北芸術工科大学)、山本 薫 (東北芸術工科大学)、長峯朱里 (東北芸術工科大学)
- ◆ P019 油彩画における経年亀裂の形状と顔料の関係性 —20世紀初頭の洋画において—
◎井上佳那子 (東京藝術大学)
- ◆ P020 油彩画に発生した劣化生成物の構造に関する考察
◎鈴嶋富士子 (東京藝術大学)
- ◆ P021 アクリル絵画作品の光劣化抑制対策におけるワニス塗布の有効性
◎小野慎之介 (東洋美術学校)、松田泰典 (東洋美術学校)、鈴木美子 (東洋美術学校)
- ◆ P022 セルロースナノファイバーとセルロース誘導体ナノファイバーで強化された酸性紙の強度試験
青木繁夫 (サイバー大学)
- ◆ P023 セルロースナノファイバーコーティングによる劣化紙の強化処理
◎岡山隆之 (東京農工大学)、○門屋智恵美 (東京農工大学)、園田直子 (国立民族学博物館)、関 正純 (高知県立紙産業技術センター)、殿山真央 (高知県立紙産業技術センター)
- ◆ P024 セルロースナノファイバーを用いたエレクトロスピニング法による紙資料の強化処理
◎関 正純 (高知県立紙産業技術センター)、殿山真央 (高知県立紙産業技術センター)、本村優季 (東京農工大学)
- ◆ P025 国立民族学博物館における展示照明のLED化
—民族資料の展示を想定した照明実験—
◎園田直子 (国立民族学博物館)、日高真吾 (国立民族学博物館)、末森 薫 (国立民族学博物館)、村田忠繁 (国立民族学博物館)、奥村泰之 (国立民族学博物館)、河村友佳子 ((公財) 元興寺文化財研究所)、橋本沙知 ((公財) 元興寺文化財研究所)、和高智美 (文化創造巧芸)
- ◆ P026 展示照明としてのLED照明と蛍光灯の特性比較検証
◎高科真紀 (国文学研究資料館)、青木 陸 (国文学研究資料館)、中澤文三 ((株) 文研)
- ◆ P027 実験用実大展示ケースを用いたケース内空気環境の研究
—展示ケース内温湿度の測定とCFD解析—
◎古田嶋智子 (東京文化財研究所)、呂 俊民 (東京文化財研究所)、林 良典 ((株) 岡村製作所)、須賀政晴 ((株) 岡村製作所)、佐藤瑠璃 ((株) 岡村製作所)、佐野千絵 (東京文化財研究所)

- ◆ P028 実験用実大展示ケースを用いたケース内空気環境の研究
—気流性状の測定とCFD解析—
◎須賀政晴((株)岡村製作所)、呂 俊民(東京文化財研究所)、古田嶋智子(東京文化財研究所)、
林 良典((株)岡村製作所)、佐藤瑠璃((株)岡村製作所)、佐野千絵(東京文化財研究所)
- ◆ P029 実験用実大展示ケースを用いたケース内空気環境の研究
—展示ケースのガス濃度評価方法の提案—
◎呂 俊民(東京文化財研究所)、古田嶋智子(東京文化財研究所)、林 良典((株)岡村製作所)、
須賀政晴((株)岡村製作所)、佐藤瑠璃((株)岡村製作所)、佐野千絵(東京文化財研究所)
- ◆ P030 展示台からの酢酸ガス遮蔽材料についての検討
◎佐野千絵(東京文化財研究所)、古田嶋智子(東京文化財研究所)、呂 俊民(東京文化財研究所)
- ◆ P031 博物館展示室内測定位置における有機酸濃度の相違
◎山崎正彦(光明理化学工業(株))、松田隆嗣(東北学院大学)、杉崎佐保恵(福島県立博物館)
- ◆ P032 博物館展示施設における温湿度ロガー設置面の素材と採取データ精度の相関分析
◎井上素子(東京国立博物館)
- ◆ P033 展示ケース内の低湿度環境維持の事例
◎實井香那子(東京国立博物館)
- ◆ P034 博物館展示資料の加湿温風による殺虫処理について —山笠土台部材の処理事例—
◎木川りか(九州国立博物館)、北原博幸(東京文化財研究所)、秋山純子(九州国立博物館)、
赤田昌倫(九州国立博物館)、藤井義久(京都大学)、藤原裕子(京都大学)、岩橋神奈子(九州国立博物館)、
泊 智子(九州国立博物館)、光山文枝(九州国立博物館)、山崎久美子(環境文化創造研究所)、
トム ストラング(カナダ保存研究所)、本田光子(九州国立博物館)、今津節生(九州国立博物館)
- ◆ P035 太陽光を利用した高温処理システム開発
—殺虫条件を満たすための処理空間の創出を目指した試験について—
◎日高真吾(国立民族学博物館)、園田直子(国立民族学博物館)、末森 薫(国立民族学博物館)、
西澤昌樹(国立民族学博物館)、松田万緒(国立民族学博物館)、河村友佳子((公財)元興寺文化財研究所)、
橋本沙知((公財)元興寺文化財研究所)、和高智美(文化創造巧芸)、木川りか(九州国立博物館)、
川越和四(環境文化創造研究所)
- ◆ P036 冷凍庫を利用した木製クレートの予防的低温殺虫処理について
◎秋山純子(九州国立博物館)、木川りか(九州国立博物館)、赤田昌倫(九州国立博物館)、
泊 智子(九州国立博物館)、光山文枝(九州国立博物館)、トム ストラング(カナダ保存研究所)、
本田光子(九州国立博物館)、今津節生(九州国立博物館)
- ◆ P037 虫食文書の虫フン軟化・溶解による頁剥離
◎富川敦子(長崎歴史文化博物館)
- ◆ P038 透明な覆屋の文化財保護効果に関する検討
◎朽津信明(東京文化財研究所)、森井順之(東京文化財研究所)、渡邊尚恵(東京藝術大学)、
佐多麻美(東京文化財研究所)
- ◆ P039 Δ Eab画像を用いた修復処置の定量的評価法の提案
◎水落貴志(東洋美術学校)、小野慎之介(東洋美術学校)、松田泰典(東洋美術学校)
- ◆ P040 首都高速道路走行時に美術品輸送車両上で発生する加速度の評価
◎和田 浩(東京国立博物館)

- ◆ P041 楮紙を用いた微加圧式マウント法の応用とその効果
—東京国立博物館における上代染織品の活用と保存の両立—
◎鈴木晴彦((株) 修護、東京藝術大学)、米倉乙世(紙・本・保存修復)、三田覚之(東京国立博物館)、
沢田むつ代(東京国立博物館)、平河智恵(東京国立博物館)、下田純平(東京国立博物館)、
土屋裕子(東京国立博物館)、神庭信幸(東京国立博物館)
- ◆ P042 掛軸装における擦れや凹みからの保護対策ツールの提案
◎瀬戸口 啓((株) 文化財保存)
- ◆ P043 簡易小型免震装置の開発と美術品への適用
◎栗田勝実(東京都立産業技術高等専門学校)、佐藤優樹(東京都立産業技術高等専門学校)、
青木 繁(東京都立産業技術高等専門学校)、金澤光雄((株) 金澤製作所)
- ◆ P044 油絵の具、トナーおよび紙の、中赤外ハイパースペクトラルイメージング
◎菅原 滋(科学警察研究所)
- ◆ P045 X線CT撮影条件と画像解析法—プロジェクション数について
◎荒木臣紀(東京国立博物館)、宮田将寛(東京国立博物館)
- ◆ P046 ヤモリテープを用いた極微量分析の可能性—段階的分解手法の試み—
◎神谷嘉美((地独) 東京都立産業技術研究センター)
- ◆ P047 Study of Nondestructive Structural Diagnostics on Painting with Terahertz Waves
◎Dai-Ilk Kang(韓国伝統文化大學校)、Na-Yeon Baek(韓国伝統文化大學校)、
Han-Hyeong Lee(韓国伝統文化大學校)
- ◆ P048 石造文化財表面に発生する析出物の抑制に関する研究
◎星野玲子(鶴見大学)、橋本直樹(逗子市教育委員会)
- ◆ P049 SfM写真測量を用いた白鳥塚古墳の三次元計測
◎岡本篤志(大手前大学史学研究所)、富山直人(神戸市教育委員会)、森下章司(大手前大学史学研究所)
- ◆ P050 土器復元材料への試み報告—岩手県釜石市屋形遺跡発掘土器の接合・復元より—
◎岩月真由子(岩月保存修復研究所)
- ◆ P051 現状記録としての考古資料の複製作成事例報告
◎石原道知(武蔵野文化財修復研究所)
- ◆ P052 甲府城下町遺跡出土の銅溶融物付着土器に関する自然科学的研究
◎三浦麻衣子(帝京大学文化財研究所)、藤澤 明(帝京大学文化財研究所)
- ◆ P053 7～8世紀の遺跡出土銅鏡の分析
◎降幡順子(奈良文化財研究所)、吉澤 悟(奈良国立博物館)、諫早直人(奈良文化財研究所)
- ◆ P054 磁器創始期の肥前陶磁の材料と焼成温度に関する研究
◎岡地智子(東京藝術大学)
- ◆ P055 真鍮箔・真鍮泥の変色について
◎薦田 梓(東京藝術大学)
- ◆ P056 緑青および焼緑青が和紙に及ぼす影響—灰汁中の銅イオンの存在—
◎貴田啓子(日本学術振興会)、柏谷明美(日本美術院)、稲葉政満(東京藝術大学大学院)、
早川典子(東京文化財研究所)

- ◆ P057 残留内部応力測定による江戸時代の銀判ならびに小判の製造法の推定
◎桐野文良(東京藝術大学)、大野直志(東京藝術大学)、田口智子(東京藝術大学)、根津暁充((株)リガク)、横山亮一((株)リガク)
- ◆ P058 奈良国立博物館における木彫像の樹種同定調査
◎鳥越俊行(奈良国立博物館)、杉山淳司(京都大学生存圏研究所)、反町 始(京都大学生存圏研究所)、田鶴寿弥子(京都大学生存圏研究所)、大江克己(奈良国立博物館)

第2日目 6月26日(日)

- ◇ P059 並河七宝の色釉薬のグラデーションにみる近代の釉薬技法
◎新免歳靖(東京学芸大学)、武藤夕佳里(京都造形芸術大学)、小川絢子(国立国際美術館)、三浦麻衣子(帝京大学文化財研究所)、長沼 暦(並河靖之七宝記念館)、二宮修治(東京学芸大学)
- ◇ P060 琉球漆器の堆錦技法に用いる焼漆製作工程の調査研究
◎小川 歩(東京藝術大学大学院)、當眞 茂(漆芸家)、館川 修(文化財保存修復技術アドバイザー)、内田優花(東京文化財研究所)、早川典子(東京文化財研究所)
- ◇ P061 X線CTによるアイヌ民族資料「ケマウシペ(行器)」の制作技法および劣化現況に関する調査
◎杉山智昭(北海道博物館)、今津節生(九州国立博物館)、鳥越俊行(奈良国立博物館)、赤田昌倫(九州国立博物館)、小林幸雄(元北海道博物館)、長田佳宏(平取町立二風谷アイヌ文化博物館)
- ◇ P062 X線CTを利用した黒漆椿捻文螺鈿香合における層状紙胎構造の非破壊分析
◎渡邊裕香(鶴見大学大学院)、小池富雄(鶴見大学)
- ◇ P063 伝五十嵐道甫作 黒漆御簾蒔絵硯箱の分析と保存修復
◎小池富雄(鶴見大学)、渡邊裕香(鶴見大学大学院)
- ◇ P064 X線CTスキャナを用いた蒔絵硯箱の構造研究 ～「我宿蒔絵硯箱」の構造調査～
◎赤田昌倫(九州国立博物館)、奥田晶子(彦根城博物館)、川畑憲子(九州国立博物館)、今津節生(九州国立博物館)
- ◇ P065 黒漆楼閣人物螺鈿卓の構造・技法 —X線CTとマイクロX線CTを用いた調査—
◎大西智洋(大西漆芸修復スタジオ)、赤田昌倫(九州国立博物館)、金 旻貞(九州国立博物館)、宮里正子(浦添市美術館)
- ◇ P066 個人蔵 盒子(耳杯十個入/後漢時代) 修復事業
◎高宮洋子(多摩美術大学)
- ◇ P067 漆芸文化財における鉛装飾の劣化と保存に関する研究
—処理液を構成する各成分の影響について—
◎田口智子(東京藝術大学大学院)、室瀬 祐(目白漆芸文化財研究所)、桐野文良(東京藝術大学大学院)、小池富雄(鶴見大学)、室瀬和美(目白漆芸文化財研究所)
- ◇ P068 漆芸文化財における鉛装飾の劣化と保存に関する研究
—保管環境による鉛の劣化とその抑制について—
◎室瀬 祐(目白漆芸文化財研究所)、田口智子(東京藝術大学大学院)、桐野文良(東京藝術大学大学院)、小池富雄(鶴見大学)、室瀬和美(目白漆芸文化財研究所)

- ◇ P069 塗装漆の色彩とその経時変化
◎小川俊夫(金沢工業大学)、沖野英二郎(金沢工業大学)、坂口 聡(金沢工業大学)、丸山ときみ(金沢工業大学)
- ◇ P070 平等院鳳凰堂中品中生図の現状模写を活用した想定復元模写制作に関する考察
◎荒木恵信(金沢美術工芸大学)、神居文彰((宗)平等院)
- ◇ P071 醍醐寺蔵「仏涅槃図」の色素に関する研究 —化学分析に基づく象徴性の復元への試み
◎田中直子((宗)醍醐寺)、大林賢太郎(京都造形芸術大学)、佐々木良子(京都工芸繊維大学)
- ◇ P072 教圓寺蔵「阿弥陀如来像」と金地「松梅図屏風」の修理報告
◎阪野智啓(愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所)、岩永てるみ(愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所)、脇屋助作(愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所)、磯谷明子(愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所)、○安井彩子(愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所)
- ◇ P073 松戸神社神楽殿絵画の保存修復：事例報告
◎三浦功美子(伝世舎)、○及川 崇(おいかわ美術修復)、荒井 経(東京藝術大学大学院)、久下有貴(東京藝術大学大学院)、西川竜司(東京藝術大学)
- ◇ P074 仏像文化財における自然科学的な年代測定調査を交えた歴史性の検証と近世修理の再評価～山形県真室川町砂子澤薬師堂木造薬師如来坐像の修復を事例に～
◎岡田 靖(木製彫刻文化財保存修復研究所)、松島朝秀(高知大学)、大山幹成(東北大学植物園)、門叶冬樹(山形大学高感度加速器質量分析センター)
- ◇ P075 地域内連携による地方文化財修理の一方法 —南野皇大神社板彫仁王立像の修理報告—
◎牧野隆夫((有)東北古典彫刻修復研究所)、○渡邊真吾((有)東北古典彫刻修復研究所)、足立取一((有)東北古典彫刻修復研究所)
- ◇ P076 高徳院国宝銅造阿弥陀如来坐像の状態調査および表面クリーニング
◎邊牟木尚美(国立西洋美術館)、及川 崇(及川美術修復)、小林芳妃(彫刻・立体作品保存修復)、伊藤一洋(山岸鑄金工房)、渡辺真樹子(東京文化財研究所)、鈴木恵梨子(川崎市市民ミュージアム)、森井順之(東京文化財研究所)、早川典子(東京文化財研究所)、佐藤孝雄(高徳院)
- ◇ P077 高徳院国宝銅造阿弥陀如来坐像の科学的金属状態調査
◎藤澤 明(帝京大学文化財研究所)、犬塚将英(東京文化財研究所)、増渕麻里耶(東京文化財研究所)、森井順之(東京文化財研究所)、早川典子(東京文化財研究所)、佐藤孝雄(高徳院)
- ◇ P078 江戸時代における鉛出し抽出法による藍の検証
◎松原亜実(東京藝術大学大学院)、降旗千賀子(目黒区美術館)
- ◇ P079 江戸時代中期小袖友禅彩色、天然染料によるラックの赤色発色
◎中村康人(染技連小袖研究会)
- ◇ P080 天然カーマインレーキ絵具の耐光性について
◎作間美智子(東京藝術大学)、正保五月(国立国会図書館)、佐藤央育(京都市立芸術大学)、西川竜司(東京藝術大学)
- ◇ P081 明治二年正月に改印を持つ錦絵の色材分析
◎大和あすか(静岡市東海道広重美術館)、塚田全彦(東京藝術大学大学院)
- ◇ P082 東京藝術大学大学美術館蔵 上村松園《序の舞》の彩色材料分析調査報告
◎田中眞奈子(東京藝術大学)、荒井 経(東京藝術大学大学院)、西川竜司(東京藝術大学)、久下有貴(東京藝術大学大学院)

- ◇ P083 彩色仏像からみる色材の変遷 —江戸後期・明治期の山形県における作例から
◎島津美子(国立歴史民俗博物館)、岡田 靖(木製彫刻文化財保存修復研究所)
- ◇ P084 東北地方における土人形の色材調査 —堤人形と相良人形の赤色色材を中心に—
◎高野智愛(東北芸術工科大学)
- ◇ P085 近世～近代を中心とした絹本作品における絵絹の織構成に関する研究
—山形美術館所蔵「長谷川コレクション」の調査をとおして—
◎森田早織(東北芸術工科大学)、志村 明(勝山織物(株)絹織製作研究所)、
秋本賀子(勝山織物(株)絹織製作研究所)
- ◇ P086 藤布製作における藤蔓中皮の細繊維化に関する研究
◎仙波壽朗(飯田女子短期大学)
- ◇ P087 兵庫県指定文化財高座神社本殿の彩色に関する一考察
◎多田牧央((有)川面美術研究所)、森 正和(龍谷大学)
- ◇ P088 特別史跡平城宮跡第一次大極殿正殿の塗装の現状について
◎長崎紀子(京都大学大学院)、脇谷草一郎(奈良文化財研究所)、高妻洋成(奈良文化財研究所)
- ◇ P089 乗物のつくりと製作技法について —莫蔭巻の乗物の修復事例から—
◎落合里麻(秋田公立美術大学)
- ◇ P090 ループ操作組紐技法に用いる補助具「クテ(組手)」に関する考察
◎小村真理((公財)元興寺文化財研究所)
- ◇ P091 古文書修復用糊へのシラン添加のカビ抑制効果
◎朱 非清(東京藝術大学大学院)
- ◇ P092 紙に付着した粘着テープの劣化
—有機溶媒を用いた粘着テープおよびテープ痕除去方法の検討—
◎内田優花(東京文化財研究所)、早川典子(東京文化財研究所)
- ◇ P093 補彩用絵具として使用される棒絵具類の接着剤について
◎山田祐子(東京文化財研究所)、大河原典子(鎌倉女子大学)、早川典子(東京文化財研究所)
- ◇ P094 桐油と竹酢液を含む膠接着剤の保存安定性
◎山内 章(桃山学院大学)、木下雅代(天野山文化遺産研究所)、山内朝夫(大阪市立工業研究所)、
田中重光(大阪市立工業研究所)、木曾太郎(大阪市立工業研究所)
- ◇ P095 膠の性状に関する研究
◎宇高健太郎(日本学術振興会)
- ◇ P096 補修紙としての芭蕉紙の提案
◎井口菜也((株)光影堂)
- ◇ P097 登録有形文化財楠森河北家住宅カンジョウマの悉皆調査
—未指定文化財の悉皆調査モデル構築に向けた取り組み—
◎三角菜緒(九州国立博物館)、本田光子(九州国立博物館)、江島尚子(うきは市教育委員会)、
生野里美(うきは市教育委員会)、狩野啓子(久留米大学比較文化研究所)、川越和四(環境文化創造研究所)
- ◇ P098 尾高鮮之助調査撮影記録のデータベース化とその活用事例
◎二神葉子(東京文化財研究所)、福永八朗(東京文化財研究所)、小山田智寛(東京文化財研究所)、
高橋佑太(東京文化財研究所)

- ◇ P099 平山郁夫氏の顔料データベース構築に関する研究
 ◎二宮修治(東京学芸大学)、野村久瑠美(東京学芸大学大学院)、白石明香(東京学芸大学大学院)、濱田 翠(東京文化財研究所)、遠藤なつね(東京学芸大学)、小笠原 梢(東京学芸大学)、小谷野匡子((株) 絵画保存研究所)、中澤紗織((公財) 平山郁夫シルクロード美術館)
- ◇ P100 持続可能型保存ネットワークに関する研究
 ～ダゲレオタイプ保存ネットワーク構築の試みからの提案
 ◎山口孝子(東京都写真美術館)、荒木臣紀(東京国立博物館)、三木麻里(写真修復家)、高橋則英(日本大学)
- ◇ P101 蛍光アクリル絵具の耐光性に関する保存科学的研究
 ◎米村祥央(東北芸術工科大学)、斉藤玲那(東北芸術工科大学)、藤墳結貴(東北芸術工科大学)
- ◇ P102 美術館における現代美術の保存修復 ―タイム・ベースド・メディア作品の修復報告―
 ◎小川絢子(国立国際美術館)、植松由佳(国立国際美術館)
- ◇ P103 メディア・アートの保存と修復 ―日本と台湾と欧米と
 ◎平 諭一郎(東京藝術大学)
- ◇ P104 被災写真を対象にした安定化処理方法の開発
 ◎武田昭子(昭和女子大学)、赤沼英男(岩手県立博物館)、熊谷 賢(陸前高田市立博物館)、本多文人(陸前高田市立博物館)
- ◇ P105 山梨における文化財防災の取組 ―火山噴火時の影響の考察と減災対策の一提案―
 ◎西願麻以(山梨県立博物館)
- ◇ P106 被災文化財等救援活動における保存修復
 ―プロットング法による洋紙作品安定化処理の試み―
 ◎米倉乙世(紙・本・保存修復)、○西原紀恵(絵画保存修復)、星 恵理子(女子美術大学)、土屋裕子(東京国立博物館)、神庭信幸(東京国立博物館)
- ◇ P107 災害後の地域美術資料の活用に関する研究
 ◎安田容子(東北大学災害科学国際研究所)
- ◇ P108 津波被災資料から発生する異臭について
 ◎芳賀文絵(東北歴史博物館)、及川 規(東北歴史博物館)、松井敏也(筑波大学)、河崎衣美(筑波大学)、増田竜司(日本無機(株))、中島文男(日本無機(株))、伏見拓朗((株) クマヒラ)
- ◇ P109 高知県室戸市の歴史資料と災害対策
 ◎松島朝秀(高知大学)
- ◇ P110 地域歴史資料の防災ネットワーク構築の手法としての「文化財防災意見交換会」
 ◎天野真志(東北大学災害科学国際研究所)、内田俊秀(京都造形芸術大学)、吉原大志(東京文化財研究所)、甲斐由香里(熊本市立熊本博物館)、芳賀文絵(東北歴史博物館)、田井東浩平(土佐山内家宝物資料館)
- ◇ P111 長崎県における文化財の防災・危機管理に関する広域的な取り組みについて
 ～「みんなでまもる文化財みんなをまもるミュージアム」事業を中心に～
 ◎松下久子(長崎県文化振興課)、高尾夢子(長崎県文化振興課)、犬塚拓郎(長崎県文化振興課)、中村 哲(長崎県文化振興課)、本田光子(九州国立博物館)
- ◇ P112 文化財を伝える―技術者の取り組み
 ◎堀江武史(府中工房)

- ◇ P113 原爆 一ひろしまの図 公開修復
◎棚橋映水 (吉備国際大学)
- ◇ P114 日本絵画の<復元>に関わるネットワーク作りに向けた取り組み
◎鷹野佳世子 (日本学術振興会)
- ◇ P115 東大寺南大門仁王像 (吽形) の構造模型制作 ～教育普及活動を目指して～
◎松田泰典 (東洋美術学校)、小野慎之介 (東洋美術学校)、大里 大 (東洋美術学校)、明珍素也 (明古堂)、吉田安成 (明古堂)
- ◇ P116 東京国立博物館における立体作品の対症修理の取り組み
◎野中昭美 (東京国立博物館)、土屋裕子 (東京国立博物館)、高橋裕次 (東京国立博物館)、荒木臣紀 (東京国立博物館)、宮田将寛 (東京国立博物館)、神庭信幸 (東京国立博物館)

第38回大会特別ポスターセッション

- 特 1 「読売あをによし賞」の取り組み 1
関口和哉 (読売新聞大阪本社)、三輪嘉六 ((特非) 文化財保存支援機構)
- 特 2 「読売あをによし賞」の取り組み 2
関口和哉 (読売新聞大阪本社)、三輪嘉六 ((特非) 文化財保存支援機構)
- 特 3 博物館プロジェクトの実践 (トコラボプログラム) 1
篠原 聡 (東海大学)
- 特 4 博物館プロジェクトの実践 (トコラボプログラム) 2
篠原 聡 (東海大学)
- 特 5 博物館プロジェクトの実践 (トコラボプログラム) 3
篠原 聡 (東海大学)
- 特 6 災害対策調査部会の活動について —2015年度報告
災害対策調査部会 (日高真吾、中村晋也、米村祥央、和田浩、加藤和歳、田井東浩平、間渕創、内田俊秀)

第38回大会プログラム作成委員会

委員長：荒井 経 (東京藝術大学)
 副委員長：和田 浩 (東京国立博物館)
 委員：相澤邦彦 (兵庫県立美術館) / 秋山純子 (九州国立博物館) / 北村 繁 (漆芸家) /
 中村力也 (正倉院事務所) / 日高真吾 (国立民族学博物館) / 降幡順子 (奈良文化財研究所)